

英語の授業で論理的に考え、書く力を育成するための教材開発

Development of teaching materials for logical thinking and writing in English

服部 孝彦

Takahiko Hattori

大妻女子大学国際センター

International Center, Otsuma Women's University

キーワード: 論理的思考力, パラグラフ・ライティング, 教材開発

Key words: Logical thinking, Paragraph writing, Material development

1. 研究目的

本研究の目的は次の2つである。第1に英文を書く上で重要な2つの要素である結束性と理論の一貫性の習熟度を高めるための基礎から応用へと段階を踏んだ教材を開発すること、第2に、論理的思考力と英語表現力を育成するための本学学生に適したパラグラフ・ライティング力を育成するための教材を開発することである。

2. 研究内容及び成果

IT時代に対応した発信として「書くコミュニケーション」が注目を集めている。しかし、書く活動の重要性はメールが書けるといった皮相的なレベルで捉えるべきではない。書くことは学習者の考える力を高める知的訓練でもある。「書く」と「考える」ことは密接につながっており、Reimesなどは、作文は思考を意味するとまで述べている。書くことは、まず自分の考えを産み出し、その考えを表現し、さらにそれを吟味することによって自らの思考を徐々に洗練させていくという高度な認知力の発達を促す行為といえる。

コミュニケーションの力をつけるというと多くの場合、話す力をつけることを思い浮かべがちであるが、話す力だけでなく、書く力もつけなければ本当の意味でのコミュニケーション力があるとはいえない。書くことは、日記のような自己対話型のものを除けば、常に読み手があってなされる行為である。書くことによって自分の考えを相手に伝え、その際できるだけ自分の考えが相手にわかってもらえるよう熟考して説明しようと努めるのである。

Widdowson は書くことは negotiation of meaning の過程をたどると述べている。この negotiation of

meaning は意味交渉と訳すことができ、コミュニケーションそのものであるといえる。話すことにおける相手との意味交渉は、音声前面に出て聞き手と話し手が交互にやり取りをしながら行われる。一方、書く場合は書き手一人が聞き手の役割も自分で想定し演じながら進める。そして実際の読み手がどのような人で、どのような考えを持っているか書く際にはわからないことが多いために、書き手は自分の考えを明確に伝えることをより意識して深く考えながら書く作業をしなくてはならない。つまり、読み手に十分理解される内容を書くためには、意味交渉を通じて正確に内容が伝わるように細心の注意をはらわなければならないのである。読み手が内容を理解するためには、読み手が容易に理解できるような文章構成になっていないといけない。この文章構成法を学ぶためには、英語のパラグラフ・ライティング学習が効果的である。

本研究では論理的に考え、書く力を育成するための英語パラグラフ・ライティング学習の段階を踏んだ教材を開発し、それを授業で使用して指導することにより、クリティカル・シンキング力と論理的に表現する力を効果的に育成することができることを明らかにした。

3. まとめと今後の課題

最近では、パラグラフ・ライティングを扱う英語教材も増えてきたが、それらの教材は、英語のパラグラフの特徴を述べ、モデルとなる英語のパラグラフを示して、それに習う形でパラグラフを書くといったものが主流である。学習者は1文1文の正確さについては英語の授業で教わる。そして市販のパラグラフ・ライティングの教材を使うと、

1文1文を書くセンテンスのレベルから一挙に英語の параグラフの書き方へと飛躍してしまう。論理的思考力を育成するためには、1文1文を書くレベルから、まとまった英語の文章を書くパラグラフへの橋渡しが必要である。この橋渡しの部分を丁寧に扱う教材は残念ながらほとんどみあたらない。1文からパラグラフへ無理なく丁寧に指導することにより、「論理のつながり」や「まとまった文章」ということを学習者に理解させることができる。今後も文レベルの学習からパラグラフの学習へと橋渡しをする教材の開発を続けていく必要がある。

4. この助成による発表論文等

①学会発表

[1] 服部孝彦 (2015) 「アカデミック英語の指導に関する研究」日本人類言語学会第 15 回学術大会, 近畿大学産業理工学部福岡キャンパス

[2] 服部孝彦 (2015) “Developing Academic Reading Skills” 日本言語文化学会第 22 回研究大会, 大妻女子大学

[3] Takahiko Hattori, Lawrence Karn, “Photographic Images in the Discourse and Rhetoric of Communication”, The Clute Institute, 2015 International Las Vegas Academic Conference, Monte Carlo Convention Center, (*The Clute Institute, 2015 Las Vegas Academic Conference Proceedings*, ISSN 2157-9660 (online)に掲載)

②その他 (講演)

[1] 服部孝彦 (2015) 文部科学省, 大分県教育委員会, 一般財団法人自治体国際化協会主催 大分県外国語指導助手指導力等向上研修(ALT Skill Development Conference in Oita), Developing Communicative Competence: From Theory to the Classroom, 2015.10.22, 大分県総合社会福祉保健センター (招待講演)

[2] 服部孝彦 (2015) 文部科学省, 鹿児島県教育委員会, 一般財団法人自治体国際化協会主催 鹿児島県外国語指導助手指導力等向上研修(ALT Skill Development Conference in Kagoshima), Communicative English, 2015.11.19, ホテルウエルビュー鹿児島ホール (招待講演)

[3] 服部孝彦 (2015) 文部科学省, 鳥取県教育委員会, 一般財団法人自治体国際化協会主催 鳥取県外国語指導助手指導力等向上研修(ALT Skill Development Conference in Tottori), Dynamic Interactive Activities for the English Classroom, 2015.12.3, 鳥取県立倉吉未来中心ホール (招待講演)

[4] 服部孝彦 (2016) 文部科学省, 三重県教育委員会, 一般財団法人自治体国際化協会主催 三重県外国語指導助手指導力等向上研修(ALT Skill Development Conference in Mie), Developing Speaking Strategies, 2016.1.21, 三重県総合文化センター (招待講演)

(2016年3月31日現在)